



10月4日から22日の15日間実習生が3名来ました。コロナ禍での実習受け入れとなりますので、実習2週間前からの体調管理、抗原検査の実施等万全な対策をしてきてもらいました。  
運動会練習では、音響担当や放送を担当し、学校ではなかなか経験できない体験をしてもらいました。  
設定保育も行い、実際に子どもたちを前に保育を進めていく難しさや、子どもたちの喜ぶ顔を見る事の出来る喜びを味わう事が出来たのではないのでしょうか。  
この実習が、学生にとっても子どもたちにとっても良い経験になりました！



- ・今回の実習で、運動会練習や本番を経験し、教師の子どもへの対応、援助の仕方を学ぶことができました。また、こどもとの関わりは《楽しい》だけでなく、安全確保が必要であることがわかりました。
- ・今回の実習では、教師が子どもたちへ見通しを持った声掛けをし、自信ややる気が出るような声掛けを行っていることに気付きました。また、一人ひとりの子どもに合わせて、声掛けを行っていたので、私も保育の仕事に就いた時に意識して子どもたちと関わっていきたくです。
- ・今回の実習を通して、子どもの一日の流れを視覚的教材で示しておくことで、子どもたちが自分自身で確認している姿がありました。また、見通しを持った活動を行うことで、子どもたちが意欲的になるとおもいました。



実習生の感想